

将来都市構想における望ましい都市像

21世紀の四国の州都を展望した

風格ある環瀬戸内海圏の中核・中核拠点都市 ～グレーター高松の創造～

海・街・山と人が融け合う 元気なまち・高松

合併後は、地域の特性を踏まえ、新しい高松市域を4つのエリアに分けて、それぞれのエリアの個性を生かしたまちづくりに取り組み、地域の活性化を図るとともに、四国の州都にふさわしい魅力ある都市を目指します。

一 国分寺町地域の位置づけ

歴史と文化が調和し、
コミュニティ文化を
創造する生活交流ゾーン

国分寺町地域のまちづくり

- (1) 新たなコミュニティ文化創造機能
- (2) 暮らしの支援と交流機能
- (3) 西の玄関機能

一 塩江町地域の位置づけ

心と体のリフレッシュの
舞台となる
オアシスゾーン

塩江町地域のまちづくり

- (1) 自然と共生したやすらぎ機能
- (2) 温泉と自然を生かした交流機能
- (3) 暮らしの支援機能

都市中心エリア

業務・都市型産業創造エリア

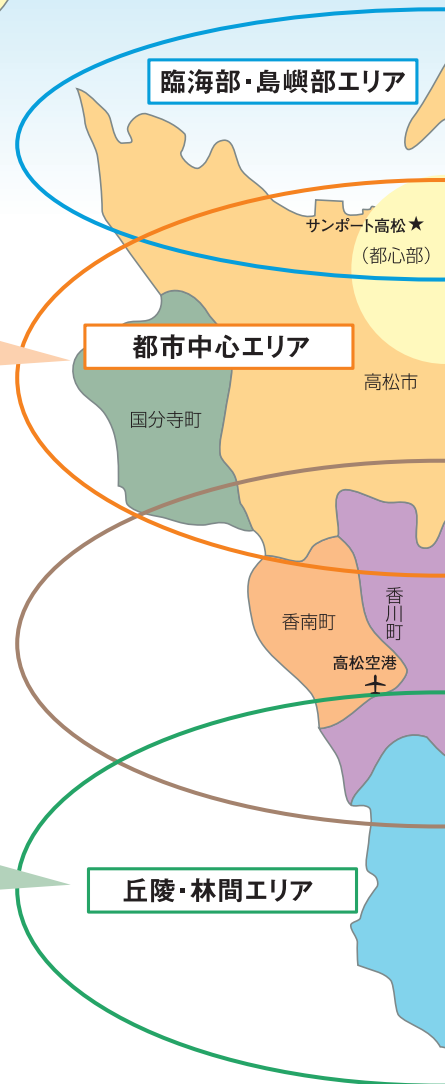
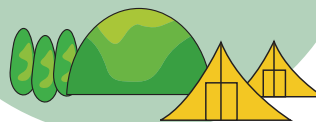
サンポート高松を中心に、新しい高松市の核となる、高次都市機能の集積した中核拠点づくりを進めます。また、香川インテリジェントパークを核とした都市型産業や技術・情報・文化の複合拠点の形成を図ります。



丘陵・林間エリア

親林・親水型保養・交流創造エリア

温泉を核に、水と緑の自然環境を生かした観光・レクリエーション機能の集積を進め、質の高い広域保養交流ゾーンの形成を図ります。



将来都市構想における望ましい都市像とは・・・？

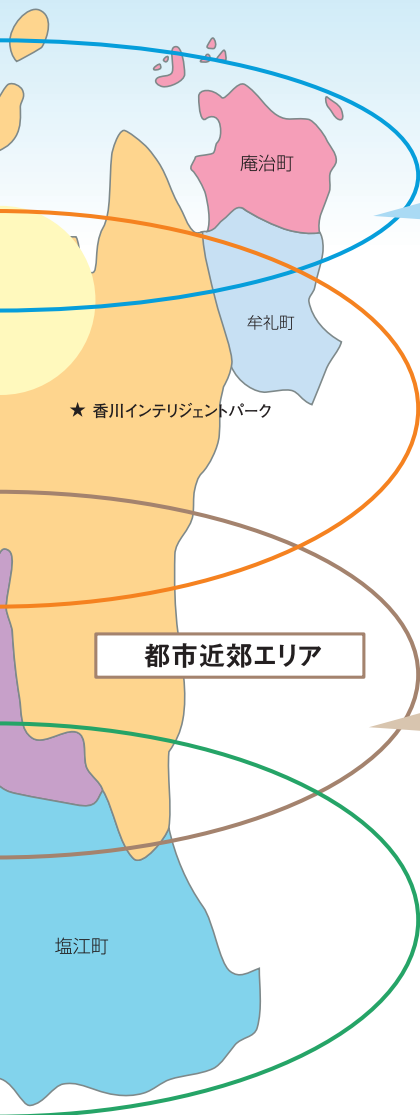


瀬戸内海に面して立地し、瀬戸内海の恩恵を受けて発展してきた高松市の都市機能の集積をベースに、市街地中心部をはじめ、各地域の街（まち）、集落機能と、自然環境豊かな農村地帯、そして讃岐山脈に抱かれた中山間地域までの多様で特色ある地域が、融合し、一体となったまちづくりを進め、そこに生活する住民同士が、地域の共同目標を共有し、共通認識を持つことによって、地域の総合力を発揮する中で、元気のある都市（まち）を創り上げることを目標とするものです。

まちづくりプラン（建設計画）とは、合併後の高松市の将来ビジョンを示すもので、ハード・ソフト両面を含めた合併後のまちづくりのマスタープランとなる重要な計画です。

将来構想を展望した都市づくりの方向

- ①道州制における州都機能の確保を視野に入れた中枢性、拠点性を発揮できる都市づくり
- ②市民が住みやすく、いつまでも住み続けたいと思える都市づくり
- ③地域の特性、特色を生かし、地域バランスに配慮した都市づくり
- ④多様で幅広い交流を展開する都市づくり
- ⑤新しい時代をリードし、地域発展を支える産業を育てる都市づくり
- ⑥地域みずからが主体的に取り組む自立した都市づくり



臨海部・島嶼部エリア

海洋性交流創造エリア

瀬戸内海の地域資源を活用して、海洋性レクリエーション機能や交流機能を充実させ、海洋性文化・芸術拠点の整備、水産業の振興を図ります。



—庵治町地域の位置づけ—

豊かな自然と特徴ある地域産業を生かし、創造的生活を育てる海の交流拠点ゾーン

庵治町地域のまちづくり

- (1)瀬戸内海を活用した交流拠点機能
- (2)地域の活力を育てる文化・芸術機能
- (3)自然と共生するやすらぎ機能

都市近郊エリア

田園型産業・生活創造エリア

都市近郊の特性を生かし、快適な居住環境や文化交流機能を生かした、生活文化交流ゾーンの形成を図ります。また、都市中心エリアとのネットワークにより、多様な生涯学習の場として、市民の憩いとうるおい空間の充実を図ります。



—香川町地域の位置づけ—

うるおいのある田園型生活文化を発信する交流ゾーン

香川町地域のまちづくり

- (1) 高松市南部の要としての拠点機能
- (2) 質の高い生活文化の創造と身近な学習交流機能
- (3) 暮らしの支援機能

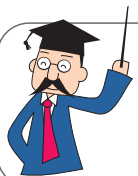
—香南町地域の位置づけ—

田園環境と空港を生かした快適生活、新産業創造交流ゾーン

香南町地域のまちづくり

- (1) 自然を生かした快適生活創造機能
- (2) 「四国の空の玄関」機能
- (3) 暮らしの支援、交流機能

グレーター高松って何・・・？



「グレーター高松」とは、広域的な都市圏を包括した表現として使っています。ほかに、例えば、グレーターロンドン、グレーターロサンゼルスなどが使われています。